

平成28年第1回定例会（6月議会） 産業観光分科会・委員会 提出資料

平成28年6月3日
観光文化スポーツ部

【所管事項関連】

交通政策課 第三セクター鉄道の平成27年度
決算見込み等について . . . 1

第三セクター鉄道の平成27年度決算見込み等について

交通政策課

1 秋田内陸縦貫鉄道(株)

(1) 平成27年度決算見込み

関連事業収入の増加や除雪費の減少等により、経常損失額は1億8千万円程度となる見込み。

(単位：百万円)

| 区 分 | | 26年度 | 27年度 | 増減 | 備考 |
|----------|-------------|-------|-------|------|--------------|
| 収 入 | 鉄 道 収 入 | 140 | 141 | 1 | |
| | 定 期 | 37 | 38 | 1 | |
| | 定 期 外 ※ | 103 | 103 | 0 | |
| | 関 連 事 業 収 入 | 45 | 54 | 9 | 車内販売・臨時販売等の増 |
| | 受 託 事 業 収 入 | 1 | 9 | 8 | プレミアム回数券事業の増 |
| | 営 業 外 収 入 | 53 | 94 | 41 | 修繕費補助等の増 |
| | 収 入 合 計 ① | 239 | 298 | 59 | |
| 費 用 | 人 件 費 | 196 | 214 | 18 | 賞与支給等による増 |
| | 除 雪 費 | 20 | 9 | △ 11 | |
| | 修 繕 費 | 96 | 119 | 23 | 車両検査修繕等の増 |
| | 動 力 費 | 37 | 27 | △ 10 | 軽油単価実績による減 |
| | 関 連 事 業 原 価 | 24 | 30 | 6 | |
| | 受 託 事 業 費 | 1 | 7 | 6 | プレミアム回数券事業の増 |
| | そ の 他 経 費 等 | 67 | 70 | 3 | |
| | 費 用 合 計 ② | 441 | 476 | 35 | |
| 経常損益 ①－② | | △ 202 | △ 178 | 24 | |

※運輸雑収入を含む。

(2) 平成28年度事業計画

- ① 定期増収対策
 - ・ 北秋田市、仙北市、上小阿仁村による定期券助成を活用した通学定期利用の促進
 - ・ 北秋田市、仙北市職員に対する通勤定期券利用に関する協力依頼の強化 等
- ② 定期外増収対策
 - ・ 台湾からの訪日観光客に対するイベント列車の提案・販売
 - ・ 訪日観光客の誘客に向けた東南アジア各国への営業強化
 - ・ 国内大手エージェントとの契約締結による団体誘客の促進
 - ・ 秋田市発着貸切バス企画列車の強化や人気企画列車の増発 等
- ③ その他増収対策
 - ・ 角館駅・鷹巣駅での物品販売の拡大に向けた「おもてなし」体制の強化
 - ・ 観光アテンダントによる車内販売や臨時販売の拡大 等
- ④ 安全・安定輸送に向けた対策
 - ・ 国庫補助事業を活用した鉄道施設設備等の計画的な整備 ※
 - ・ 技術研修会等への積極的な参加による人材の育成
 - ・ 通勤・通学時間帯の接続や北海道新幹線への接続に配慮したダイヤ改正 等

※ 今年度は車両に係る国費が減額されたため、一部事業の先送り等により財源を確保し車検を実施。

2 由利高原鉄道(株)

(1) 平成27年度決算見込み

除雪費や動力費の減少等により、経常損失額は8千5百万円程度となる見込み。

(単位：百万円)

| 区 分 | | 26年度 | 27年度 | 増減 | 備考 |
|----------|-------------|------|------|-------|--------------|
| 収 入 | 鉄 道 収 入 | 53 | 54 | 1 | |
| | 定 期 | 25 | 27 | 2 | 定期購入者の増 |
| | 定 期 外 ※ | 28 | 27 | △ 1 | |
| | 関 連 事 業 収 入 | 4 | 22 | 18 | 車内販売・臨時販売等の増 |
| | 受 託 事 業 収 入 | 133 | 22 | △ 111 | 受託事業費の減 |
| | 営 業 外 収 入 | 7 | 6 | △ 1 | |
| | 収 入 合 計 ① | 197 | 104 | △ 93 | |
| 費 用 | 人 件 費 | 105 | 105 | 0 | |
| | 除 雪 費 | 6 | 3 | △ 3 | |
| | 修 繕 費 | 7 | 6 | △ 1 | 一部直営化による減 |
| | 動 力 費 | 12 | 9 | △ 3 | 軽油単価実績による減 |
| | 関 連 事 業 原 価 | 7 | 13 | 6 | |
| | 受 託 事 業 費 | 106 | 15 | △ 91 | 受託事業費の減 |
| | そ の 他 経 費 等 | 40 | 38 | △ 2 | |
| | 費 用 合 計 ② | 283 | 189 | △ 94 | |
| 経常損益 ①-② | △ 86 | △ 85 | 1 | | |

※運輸雑収入を含む。

(2) 平成28年度事業計画

① 定期増収対策

- ・ 由利本荘市職員を始めとする沿線企業・団体の通勤定期券利用の促進
- ・ 由利本荘市と一体となった沿線高等学校への通学定期券の利用依頼の実施
- ・ 定期券収入が伸び悩む原因を把握するためのアンケート調査の実施 等

② 定期外増収対策

- ・ 多客期（盆、正月等）の臨時列車の増発や人気企画列車の増発
- ・ 沿線の小学校等児童を対象とした校外学習ツアーなどの新規造成
- ・ 台湾鐵路管理局「平溪線」との姉妹鉄道協定による相互交流の促進 等

③ その他増収対策等

- ・ 今年度新設のバス事業部と連携したツアーの造成
- ・ 車両のラッピングによる広告収入や、外部機関による経営指導の導入
- ・ 鳥海山ろく線運営促進連絡協議会による県外への営業強化 等

④ 安全・安定輸送に向けた対策

- ・ 国庫補助事業を活用した鉄道施設設備等の計画的な整備 ※
- ※ 今年度は車両に係る国費が減額されたため、一部事業の先送り等により財源を確保し車検を実施。